



自衛隊栃木地方協力本部

自衛隊の看護師ならではの活躍の舞台（部隊）を見学 ～朝霞駐屯地の東部方面衛生隊等を見学～



看護師による看護学科学生の説明
～私の経験を交えて～



看護師との懇談
～なんでも聞いてね～



野外手術システムの見学
～救命のための初期外科手術に対応～



救急車の見学
～最大8人まで搬送可能～



東部方面衛生隊の皆さん
～見学のご対応ありがとうございました。～



陸上自衛隊広報センター前
～「ヒヨコ隊員」と1枚パチリ～

自衛隊栃木地方協力本部（本部長 松田 桃子1陸佐）は、11月22日（土）、朝霞駐屯地部隊見学を実施した。

栃木地本では、自衛隊採用試験受験者に対するフォローアップの一環として希望する採用種目に応じた軽易な部隊見学等を積極的に推進しており、部隊見学を通じて自衛隊の中の人を覗いてもらい不安や疑問を解消して頂き、受験した方が真っ直ぐに自衛官を目指して頂けるように後押しをしている。

今回の部隊見学は、朝霞駐屯地司令業務室（司令 坂田陸将補）及び東部方面衛生隊（隊長 大野1佐）の協力により、防衛医科大学看護学科学生（以下「看護学生」）採用試験1次合格者に対する衛生科部隊の見学と看護師との懇談等を実施した。

東部方面衛生隊は朝霞駐屯地に所在し、東部方面隊直轄部隊の衛生支援を任務するほか、災害派遣、国際活動などを任務としている部隊であり、自衛隊の人的戦闘力発揮のため重要な任務を担っている部隊である。

見学は、東部方面衛生隊の概要説明に始まり、看護師（看護師である幹部自衛官）が自分の経験を交えて看護学生の教育環境と看護師として活躍できる多様な進路を具体的に説明し、その後看護師との懇談では、参加者からの幅広い質問（看護師のキャリアアップ、出産・育児等への疑問等）に対して看護師の丁寧な応答により、参加者の疑問が解消された様子であった。懇談後は、衛生科隊員による説明により野外手術システムや救急車を見学して東部方面衛生隊の見学を終了した。

昼食後は、朝霞駐屯地広報担当の案内により車両で駐屯地内を巡回し、駐屯部隊の関連施設等を見学したのち、陸上自衛隊広報センター（りっくんランド）と振武臺（しんぶだい）記念館を見学して全ての見学を終了した。

栃木地本は、「今後も関係部隊と連携した部隊見学等を積極的に実施し、多くの方々に参加して頂き自衛官としてのやりがいや魅力を実感してもらい、誰でも輝ける場所がある素晴らしい仕事だと理解してもらえよう様な様々な活動を展開して行く」としている。今回の見学でご対応頂いた朝霞駐屯地司令業務室、東部方面衛生隊の皆様、ご支援ありがとうございました。